

1. 会長挨拶（高山会長）

- 本日は、ご報告事項が幾つかありますので、宜しくお願ひ致します。まず「壬生論語検定支援」について、4月2日の「下野新聞」と「広報みぶ4月号」に記事が掲載されました。次に3月28日にZOOMにて開催されたPETS報告ですが、シェカール・メータ（インド）2021-22年度RI会長のメッセージは『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』です。また、石田順一第2550地区ガバナーのメッセージは『未来のクラブを描きましょう』です。これらのメッセージを踏まえて、次年度も活動していきたいと思ひますので、皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。次に、森本ガバナーよりの「趣意書」ですが「県医師会を通し、義援金を寄贈したい。ご賛同いただけるクラブの皆様にはお1人2,000円のご寄付をお願い致します」の件で、地区に確認したところ、ワクチン接種プロジェクト支援の寄付金としたいとのことでした。壬生クラブとして4万円（2,000円×20名）を支出したいと思ひますので、承認を頂きたいと思ひます。最後に川嶋健市ガバナー補佐よりの「第6G グローバル補助金プロジェクト」の件で、地区の財団委員長より壬生クラブが幹事クラブになってほしいとありました。以上のことをご報告致します。コロナ禍の中で、対面例会が開催出来ず、活動もままならぬ状態ですが、皆様のご理解とご協力を宜しくお願ひ致します。

2. 幹事報告（刀川幹事）

- 地区より「2021-22年度R財団地区補助金申請」の連絡が届いております。（締切 4/25）
- 次年度のガバナー公式訪問は、2021年7月28日（水）となりますので、現況報告書作成のため、各委員長は実績報告と事業計画を早めに纏めて頂きたいと思ひます。尚、次年度の委員会編成は、そのまま継続（持ち上がり）となりますので、宜しくお願ひ致します。
- 地区より「母子の健康月間リソース」が届いております。
- 本日のオンライン例会参加者は8名（高山会長、刀川幹事、中山健会員、栗原会員、奈良部会員、田中会員、中山博文会員、事務局）です。

3. 委員会報告（高山会長）

- 地区補助金事業の「壬生論語検定支援」が終了し、漢字文化振興協会より請求書が届いておりますので、ご報告いたします。検定料：初級（@600円×65名）中級（@800円×87名）世界記録チャレンジコース（@1000円×74名）論語横断幕：（@22,500円×8台＋消費税）以上の合計が380,600円となりましたので、地区補助金報告書を作成したいと思ひます。

4. その他の報告（中山健会員）

- 会員増強の件で、お知らせしたいことがあります。以前に安塚の方で壬生ロータリークラブから勧誘を受けていらした栗原さん（経理士）にお会いした折に、当クラブに入会を考えているような様子でしたので、もう一度、勧誘してみてもどうかと思ひます。
（刀川幹事：以前に当クラブの例会にもお客様として参加して頂いたことがありますので、近いうちに勧誘に行ってみたいと思ひます）

5. 例会内容（中山健副幹事卓話）

- 2月23日の「R財団補助金管理セミナー&研究会」に参加した報告として、ロータリー財団補助金について話されました。（内容を抜粋して記載いたします）



《未来の夢計画》

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。そして「世界でよいことをしよう」という標語が承認されました。目的は、世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。意思決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。ロータリー財団の活動に対する理解を深め、公共イメージを高めることです。地区の年次プログラム基金への寄付、および恒久基金寄付シェアの収益は、DDF（地区財団活動資金）とWF（国際財団活動資金）の二つの活動資金に分けられる。地区は希望する財団の補助金とプログラムに充当するため DDF を使用する。財団独自の資金周期では、地区からの寄付が3年後にプログラムのために使用される。

《ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金》

地区補助金は、地区に一括で支払われ、ロータリアンがプロジェクトに柔軟に活用できる補助金であり、その全額は DDF（地区財団活動資金）の配分によって賄われる。

グローバル補助金は、大規模なプロジェクトと活動に使用できる。予算は少なくとも 30,000 米ドル以上とし、そのうちグローバル補助金として WF（国際財団活動資金）から最低 15,000 ドルが授与される。グローバル補助金には、2 者の代表提唱者が必要である。一方は活動が実施される国内の実施国側提唱者、もう一方は国外の援助国側提唱者となる。

《クラブの参加資格認定：覚書（MOU）について》

- ① クラブの参加資格（毎年最低 1 名のクラブ会員が補助金管理セミナーに出席を同意する）
- ② クラブ役員の責務（資金管理の方策と適切な補助金管理の慣行に従って管理確認をする）
- ③ 財務管理計画（書面で財務管理計画を作成。全ての領収書と補助金支払を記録する）
- ④ 銀行口座に関する要件（受け取る口座を開設。補助金用であることを明らかにする）
- ⑤ 補助金資金の使用に関する報告 ⑥書類の保管 ⑦補助金資金の不正使用に関する報告

*先日、次年度の地区補助金申請に関して、MOU（覚書）を地区へ提出致しました。

4月 母子の健康月間

4月 11日 (日)	休会(地区研修・協議会中止のため)	
14日 (水)	休会	
21日 (水)	会員卓話(中山博文会員) 午後 12 時 30 分から	日本料理「篠」
28日 (水)	懇談会	オンライン例会

5月 青少年奉仕月間

5月 5日 (水)	休会(こどもの日)	
12日 (日)	会長エレクト卓話	理事会
19日 (水)	クラブ協議会(次年度各委員長)	オンライン例会
26日 (水)	クラブ協議会(次年度各委員長)	オンライン例会